

北の縄文道民会議  
株式会社ミュゼジャパン  
株式会社インテリジェント・リンク

報道機関各位

## 第15回ジャパンエキスポ (in パリ) に出展します。

このたび、「北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録をめざす道民会議（略称：北の縄文道民会議）」、株式会社ミュゼジャパン及び株式会社インテリジェント・リンクは、2014年7月2日（水）～6日（日）にパリで開催される「第15回ジャパンエキスポ」に出展します。

ジャパンエキスポは前14回開催で約23万人を動員するなど、ヨーロッパ最大の日本文化・エンターテインメントの祭典です。海外ファンも多いアニメやマンガといったポップカルチャーにとどまらず、近年は日本の現代文化、伝統文化といった新たな日本文化発見の場にもなっています。

三者はこれまで北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録推進活動を行ってきましたが、その活動の中で縄文文化の価値を世界に発信する必要があるとともに、縄文文化に触発されたデザイン、アートは世界に通じる「クールジャパン」と考え、今回の出展を企画いたしました。今回初めてとなる当出展では、縄文文化を紹介したパネル展示や資料の配付、土偶をモチーフとしたグッズ販売を予定しています。

日本の古代文化である縄文文化は1万年以上にわたって自然と共生した独特の文化をはぐくみ、現在の私たちの文化の基層を形成しています。縄文人が作りだした土偶や土器はどれも個性的で不思議な魅力をもつものばかりです。私たちは「縄文＝クールジャパン」という新しい日本文化の提案によって、北海道、ひいては日本の貴重な地域資源である「縄文文化」や「土偶」の素晴らしさを世界へ発信し、北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に寄与すべく、海外での縄文文化の認知促進を目指します。

本プレスリリースへのお問い合わせは、下記にお願いいたします。

株式会社ミュゼジャパン 森影真梨乃

TEL : 011-206-9372 FAX : 011-271-2055

E-Mail : marino@go-musee.com

■参考／パリでアピールする縄文デザイン例

◎イラストレーターまっしまゆうこによる土偶の世界



■ジャパンエキスポについて

15年前から日本のポップカルチャーの多様性を紹介し続け、現在ではヨーロッパ最大の日本文化・エンターテインメントの祭典そしてパイオニアとして、一般消費者や企業から注目されています。

<http://nihongo.japan-expo.com/art-1042-en-accueil.html>

◎日時：2014年7月2日（水）～7月6日（日）

◎会場：Parc d'Expositions et Centre de Conventions de Pars-Nord Villepinte

（パリノールビルパントコンベンションセンター）

<http://www.viparis.com/viparisFront/do/centre/paris-nord-villepinte/Accueil>

■各団体概要

◎北の縄文道民会議 代表 堀 達也

2012年結成。北海道の縄文文化の素晴らしさや魅力を伝えるとともに、世界遺産登録に向けて機運を盛り上げるなど、道民運動の大きなうねりをつくっていく組織として結成された。

北の縄文道民会議 事務局（株式会社シーブーツアーズ内）

TEL：011-221-1122 FAX：011-221-0117

<http://www.jomon-do.org/>

◎株式会社ミュゼジャパン 代表取締役 森影 依

2013年設立。日本の地域文化を世界に伝えることを使命とし、インターネットを活用した地域文化の世界への発信、クールジャパングッズの企画・制作・海外への販売を行なう。

TEL：011-206-9372 FAX：011-271-2055

<http://go-musee.com/>

◎株式会社インテリジェント・リンク 代表取締役 森影 依

2000年設立。Webや広報物制作によるコミュニケーション創造企業として、活力ある地域作りに貢献するため、北海道の地域振興を目指した出版事業や世界遺産登録推進活動を行なう。

TEL：011-271-2080 FAX：011-271-2055

<http://www.ilc.co.jp/>